



食環協 ニュース119

2012. 2. 23

●編集/発行 公益社団法人食品容器環境美化協会 〒108-0023 東京都港区芝浦 2-15-16田町K-Sビル6階 電話03-5439-5121
ホームページ <http://www.kankyobika.or.jp>

第12回環境美化教育・優良校等表彰式が開催されました

1月27日（金）東京の第一ホテル両国「清澄の間」で、第12回環境美化教育・優良校等表彰式が表彰校の児童生徒を含む多数の参加者の出席を得て開催されました。

この表彰は、環境美化教育に独創的、継続的にかつ熱心に取り組み、「公共の場所の美化活動」「飲料あき容器等のリサイクル活動」を実践し、地域の環境美化に大きく寄与している小・中学校等を都道府県の推薦により選出し表彰するものです。

昨年度までは散乱防止活動部門、リサイクル活動部門にわけてそれぞれ受賞校を決定していましたが、環境美化活動をより包括的かつ総合的にとらえるため、今回から小学校部門、中学校部門という区分にして表彰することとしました。

なお、本年度は40都道府県から70校の推薦がありました。この中から審査委員による厳正な審査が行われ、最優秀校8校と特別優秀校の2校が選定され、表彰の運びとなりました。〈表彰校選定理由は4～8ページに掲載。なお詳細は当協会ホームページ(<http://www.kankyobika.or.jp>)に3月中旬にアップされます。〉



和やかに表彰式

当日は、会場（第一ホテル両国）に、最優秀校、特別優秀校を代表する児童、生徒、先生方のほか、父兄など学校関係者、飲料団体関係者、各地域の報道機関等130名が集まり、受賞を祝うとともに各校の栄誉を称えました。

冒頭、当協会の狩野住夫会長からの12回目となる表彰事業の意義などについて挨拶の後、賞状の授与に先立ってスライド映写による受賞校それぞれの活動内容が紹介されました。続いて審査委員長の小澤紀美子東海大学教授から、次の世代を担う子供達の素晴らしさに触れた感銘深い審査であったことが伝えられました。また、来賓として出席していただいた文部科学省の美濃亮氏、農林水産省の山田啓二氏、環境省の沼田氏から、循環型社会の形成にむけた地道な活動を励ますお話しをいただきました。また、食環協アドバイザーフェローとして活動している根本美緒氏からは各校ごとの活動にふれながらその活動の素晴らしさに感激したとの言葉をいただきました。

表彰式典後、一同揃っての記念写真の撮影があり、続いてなごやかな懇談会が行われました。懇談会では、あらためて受賞各校の皆さんの言葉により、詳しい活動と苦労話などが披露されました。参加者の間で情報交換がおこなわれ、話が会場近くの大相撲の事になるなど、和気藹々とした楽しい祝会となりました。＜以下、出席者のお言葉、各校の受賞理由、関係者のインタビューを掲載＞

出席者のお言葉

「教科書だけではなく地域のことを学ぶ」

審査委員長 東京学芸大学名誉教授
小澤 紀美子様

私の好きな司馬遼太郎さんの「二十一世紀に生きる君たちへ」というエッセーの中に「自然こそ普遍の価値である」とあります。今回表彰された方々はリサイクル活動や散乱ゴミを集める活動を体験しながら自然の恵みや命というものを非常に感じたことと思います。また、みなさんは活動することによって、いろいろな人から様々なことを学んだことと思います。単に知識だけを学ぶのではなく、地域の方々から今後の生き方や方向性を学んで自分の個性を伸ばし、より良い日本を導く第一歩にしていきたいと思います。



小澤審査委員長

「環境問題について正しい理解を」

文部科学省 初等中等教育局教育過程課
課長補佐 美濃 亮様



文部科学省 美濃さん

環境教育は人類の将来の生存と繁栄のためにとても重要な問題です。恵み豊かな環境を守り、私たちの子孫に引き継いでいくためには環境に対する負荷というものを軽減し、持続可能な社会である循環型社会への移行を進めていく必要があります。特に昨年の東日本大震災を経験して、自然のすばらしさや大切さだけではなく、大量生産、大量消費、大量廃棄を続けるような生活や社会のあり方について考えさせられました。本日受賞された皆様には引き続き環境問題について正しい理解を深め、限りある資源やエネルギーを有効に活用することを通じて、自分が責任を持って環境を守っていくという気持ちを持って、たくましく成長されることを願っております。

「農林水産業の発展にもつながる取組みと評価」

農林水産省 食料産業局・食品製造卸売課
食料産業調査官 山田 啓二様



農林水産省 山田さん

今回の受賞は、環境活動はもとより地域活動、啓発活動など農林水産業の発展につながるいろいろな活動を継続したことが高く評価されたものと感じております。農林水産業の再生、自然。涵養に密接不可分な取組みと理解しており、引き続き継続いただきますようお願いしたいと思います。農林水産省では、今年、農林水産業を元気にする一次産業、二次産業、三次産業を融合した六次産業化という農林水産業農山漁村発展のための課題に取り組んでおります。皆様には引き続き環境活動にいらっしゃるご尽力いただいて、我が国の環境をより良くしていただけるよう頑張っていたきたいと思います。

「意識の改善の積み重ねが大事」

環境省 大臣官房・リサイクル対策部 企画課リサイクル推進室室長補佐
沼田 正樹様

環境省では、循環型社会の構築のためリサイクルの推進に取り組んでいます。その一環としてペットボトル等の容器包装のリサイクルを進めていますが、家庭から出るゴミを調べますと、半分が容器包装のゴミという結果も出ています。実際、清掃活動で集まるゴミの中でも、空きペットボトルや空き缶が多いと感じております。環境問題解決の為には、日頃の自分自身の生活スタイルを見直し、ゴミの少量化をはじめ環境に負荷はかけないという生活の方向にする必要があると思います。これは一日や一年といった短い期間で出来るものではありません。日頃の取組み、意識の改善の積み重ねが大事なことです。今後も活動を継続・拡大していただき、より多くの人々の意識の改革につながっていかばと思います。



環境省 沼田さん

「ものを大切にするという原点を」

公益社団法人食品容器環境美化協会
アドバイザーフェロー 根本 美緒様



根本さん

皆様が、継続的に一生懸命に活動に取り組んでいらっしゃる姿に胸を打たれました。アドバイザーフェロー賞の名柄小中学校、湯出小学校には、四季というものを意識しながら環境教育に取り組まれている印象をととても受けました。成良中学校の文化再生プロジェクトや御野小学校のゴミ回収、そして、滝尾小学校にも東星中学校にも身近な自然を大切にするという心が環境教育の一番の原点となっているとあらためて思いました。日置小学校では、小学生が始めたことが地域に広がっていくというひとつの環境教育の力というのを感じました。これからも引き続き笑顔で活動を続けていただくと同時に、ものを大切にするという原点を持ち続けていっていただきたいと思います。

～最優秀校の活動概要～

【小学校部門】

文部科学大臣賞 広島県 福山市立御野小学校

福山市立御野小学校は、市の環境学習モデル校として、「みの環境レンジャー出動」の愛称のもと、地域を流れる堂々川にホタルを復活させる活動を始め、様々な環境美化、環境保護活動を実施した。

その中で、地域の団体との協働による「クリーンアンドグリーン活動」、毎日の縦割りによる学校周辺の清掃活動「縦割り清掃」、堂々川の「定例清掃活動」、「一斉清掃活動」などを展開している。

また、環境会議の開催、児童環境ポスター・環境標語への応募、水質検査、植樹など多彩に活動を実施しており、地域の各種団体が学校活動に協力する環境学習、啓蒙運動も実施している。

このような取り組みにより、子ども達には地域の四季・自然への関心が高まっており、環境を守る大切さが実感されるようになった。

これらの活動は、環境美化教育のまさに狙いとするところであり、児童の環境保護・保全、地域美化等の意識の向上に資するところ、極めて大なるものがあると評価され、全審査委員により環境美化教育・小学校の部・最優秀校として文部科学大臣賞にふさわしい活動として認められた。



農林水産大臣賞 石川県 中能登町立滝尾小学校

中能登町立滝尾小学校は、学校のすぐ横を流れている歴史ある「熊野川」が、年々汚れてきていることから、地域の生活用水でもあり、かつては子どもたちの遊ぶ場所でもあった川を、元のきれいな熊野川に戻そうと、川の水質調査、生物調査を行うとともに「滝尾っ子ボランティア」の愛称のもと、清掃活動を開始し、地域への啓発活動も展開してきた。

その活動の中で、地域への訴えかけとしての看板の設置や、川の水質や生物などの各種観察結果を地域へ提供する等の実績から、「環境の学校」として地域全体に認められ、学校の活動に対して、協力と励ましが寄せられている。

また、川の清掃だけでなく、町を対象にする計画が立てられ、全学年が遠足で清掃活動に取り組んだという活動の発展も見られた。

これらの活動は、環境美化教育のまさにねらいとするところであり、児童の環境保護・保全、地域美化等の意識の向上に資するところ極めて大であると評価され、全審査委員により環境美化教育・小学校の部・最優秀校として農林水産大臣賞にふさわしい活動として認められた。



環境大臣賞 ^{オオ ヤ} 宮城県 気仙沼市立大谷小学校

気仙沼市立大谷小学校は、昭和40年以来長きにわたり、地元を代表する観光地「大谷海岸」の清掃活動を、海開きと同時に展開し、子ども達に対する環境を守ろうという態度の育成をはじめとして、勤労奉仕への関心、ふるさとを愛する心情の育成、地域社会の一員としての自覚の形成に大きな成果を上げてきた。

清掃活動の実施に当たっては、大谷小学校のみならず、幼稚園、中学校、公民館関係などの諸団体が参加し、地域住民の理解、協力も得ながら、現在では地域を挙げた重要な活動となっている。

3月11日の大震災により、地域は大きな被害を受けたが、子ども達は震災を乗り越え、

これまで培われてきた「進んで地域の環境を守る」という精神で、自らが先頭に立ち、頑張っていこうという意欲が認められる。

このような活動は、環境美化教育のまさにねらいとするところであり、地域の環境への関心が他の環境教育実践活動の基盤ともなっていると評価され、全審査委員により環境美化教育・小学校の部・最優秀校として環境大臣賞にふさわしい活動として認められた。



協会会長賞 ^{ヒ キ} 和歌山県 白浜町立日置小学校

白浜町立日置小学校は、平成14年の遠足時に、当時の子ども達を連れ地元の海岸に行き、そこに落ちていた多量のごみと、その散乱を実際に目にした子ども達が、自らで問題意識を持ち、きれいな海岸を取り戻そうと端を発したことで、それ以降毎年、春の遠足時には、海岸での清掃活動を行うことを全校に広げていった。

また、秋にも「クリーン・グリーン作戦」という名の下で活動し、その活動を小学校だけでなく、地域全体まで広げることで、地域の方々など世代を超えた活動へと発展させてきた。

現在では、活動開始時のごみの量に比べると、激減するなど、学校の活動は地域の環境

美化意識の向上に大きな貢献を果たし、実際に顕著な成果を上げていると認められる。

これらの活動は、環境美化教育のまさにねらいとするところであり、児童の環境保護・保全、地域美化等の意識の向上に資するところ極めて大であると評価され、全審査委員により環境美化教育・小学校の部・最優秀校として公益社団法人食品容器環境美化協会会長賞にふさわしい活動として認められた。



～最優秀校の活動概要～

【中学校部門】

文部科学大臣賞 ^{セイリョウ} 兵庫県 尼崎市立成良中学校

尼崎市立成良中学校は、川や海、運河に近いという地域の特性を生かして、「尼崎シーブルプロジェクト」という名称のもと、美しく豊かな水辺環境を再生しようと、空き缶やごみ類の回収活動に加え、ヘドロ要因になる貝類や藻類の回収も実施してきた。

活動にあたっては、行政、企業、団体、大学と連携するとともに、学校主催のフォーラムで活動を発表するなど地域の理解・応援が得られるように努力し、より発展的なイベント、取り組みへとつなげている。

また、美化活動や緑化活動の推進を成良中学校が中心となっていくべきだという意見が生徒達から沸き上がり、21世紀のゴミプロジェクトがスタート。

このような活動の結果、環境教育を受ける中で活動の価値の理解が深まり、身近な環境を美しく整えていくという生徒の態度が醸成されてきている。

これらの活動は、環境美化教育のまさにねらいとするところであり、生徒の環境保護・保全、地域美化等の意識の向上に資するところ極めて大であると評価され、全審査委員により環境美化教育・中学校の部・最優秀校として文部科学大臣賞にふさわしい活動として認められた。



農林水産大臣賞 ^{トウセイ} 愛知県 名古屋市立東星中学校

名古屋市立東星中学校は、平成17年の愛知万博を契機に継続的に地域清掃、資源回収などを実施、学校の環境活動として定着させてきた。

資源回収活動での結果は、ポリオワクチン約53人分と交換できるキャップ42,280個を回収、CO₂は332,955キログラムの削減となった。

地域清掃は、5月の環境ウィークに資源回収活動と併せて学校周辺等を清掃するとともに、学校に隣接する森を里山として再生させようと約20人の生徒が週2回「KeepGreen活動」と名付け、廃木の撤去や清掃活動を実施している。

また、活動を各種媒体、地域イベント等で広く地域に周知し、環境に関わる活動の幅を

広げている。平成20年度より行われている牛乳パックを再利用したエコものの作りなど、創意工夫でゴミを減らすための提案などを実演し、地域の人々から共感を得ることができた。

これらの活動は、環境美化教育のまさにねらいとするところであり、生徒の環境保護・保全、地域の美化意識の向上に資するところ極めて大なるものがあると評価され、環境美化教育・中学校の部・最優秀校として農林水産大臣賞にふさわしい活動として認められた。



環境大臣賞 ア ナン ツバキマチ 徳島県 阿南市立椿町中学校

阿南市立椿町中学校は、地域の貴重な生物であるアカウミガメの保護観察運動の一環として、アカウミガメの産卵場所でもある地域の海岸清掃活動を平成11年以来展開してきた。

また年々減少傾向にあるウミガメの保護観察活動を通して、命の大切さや環境問題について12年間継続して取り組んでいる。

ウミガメの生態を知るために外部講師を招いて「ウミガメ環境講座」を実施し、ウミガメにとってやさしい環境を作るためにはどのようにしたら良いのかを学習している。生きているウミガメを観察し、その泳ぎや生態について指導員から説明を受けながら実際に触れ合ってきた。

この活動を通じて「ウミガメにやさしい環

境は、自分たちにもやさしい環境」という意識が生徒たちに生まれ、この活動が「共生」の学習の場ともなっている。

このような活動は、環境美化教育のまさにねらいとするところであり、生徒の環境保護・保全、地域美化等の意識の向上に資するところ極めて大なるものと評価され、全審査委員により環境美化教育・中学校の部・最優秀校として環境大臣賞にふさわしい活動として認められた。



協会会長賞 ジョウホク 佐賀県 佐賀市立城北中学校

佐賀市立城北中学校は、佐賀市学校版環境ISO認定校として水、電気、資源物の節約や河川、校内外の緑化推進などを積極的に行っている。

14～15年前から各学期に1回、生徒会や体育委員会を中心に、健康づくりを兼ねた環境美化活動である「クリーンクリーン健康ウォーク」を実施するとともに、町内清掃、河川清掃等を行う「クリーンアップ大作戦」を年1回実施するなど様々な環境美化活動に取り組んでいる。

活動にあたっては、地域の各種団体への参加呼びかけを行い、ともに活動に参加する住民も次第に多くなってきており、佐賀市の「子どもたちの『市民性』を育てよう」という取

り組みに沿った活動内容にもなってきた。地域住民との触れ合いを通して、社会と共生する精神を育む機会にもなっている。

これらの活動は、環境美化教育のまさにねらいとするところであり、生徒の環境保護・保全、地域美化等の意識の向上に資するところ極めて大であると評価され、全審査委員により環境美化教育・中学校の部・最優秀校として公益社団法人食品容器環境美化協会会長賞にふさわしい活動として認められた。



～根本美緒アドバイザーフェロー賞～

【小学校部門】

熊本県 水俣市立湯出小学校

水俣市立湯出小学校は、「空き缶回収アンドクリーン作戦」という名の下、八月と一月の年に二回、日曜日を活用し、地域に事前にお知らせをして、全校児童36名で地域の清掃活動を行っている。

子どもたちの保護者を含め、湯出地区全世帯がPTA会員であるため、地域一体となって意欲的に協力をしてもらうことで、子どもたちは、地域に見守られていることを知り、ふるさとへの愛情や、ふるさとに対する想いを強く持つ子どもたちを育成している。

また、毎朝始業前にちょこっとボランティアという意味の「ちょボラタイム」という活動を行う時間を設けることで、子どもたちは、日常的につねに身の回りをきれいにす

ることを心がけるようになり、美化意識を常に持つ子どもが育まれている。

第12回 環境美化教育優良校等表彰 最優秀校・特別優秀校
主催：公益社団法人 食品容器環境美化協会 後援：文部科学省 宮崎県教育委員会



これらの活動は、環境美化教育のまさにねらいとするところであり、児童の環境全体、地域美化等の意識の向上に資するところ極めて大であると評価され、全審査委員及び食環フェローにより環境美化教育・小学校の部・特別優秀校としてアドバイザーフェロー賞にふさわしい活動として認められた。

【中学校部門】

鹿児島県 宇検村立名柄小中学校

宇検村立名柄小中学校は奄美大島西海岸の小学校4名、中学校4名の小・中併設校であり「自分たちの地域は自分たちできれいにする」の理念のもと、子どもたちに清掃活動を通して命や環境、郷土を愛する態度を育てることを目的に活動をしている。

中学生がリーダーになり学校全体が一体となって島の清掃活動に取り組み、過疎化・高齢化で地域では対応できない部分を子どもたちが支え、地域の人々の子どもたちへの感謝の気持ちも強い。

また「花いっぱい活動」は年間を通して行われており、四季によって変化するさまざまな花に囲まれている。毎朝花々にかかずに水やりを行い、毎週土曜日はフラワーの時間

として土作りや植え付け、草取りなど教師と生徒が花への愛情を持って作業をし、豊かな人間性の育成にも結びついている。



これらの活動は、環境美化教育のまさにねらいとするところであり、生徒の環境保護・保全、地域美化等の意識の向上に資するところ極めて大であると評価され、全審査委員及び食環フェローにより環境美化教育・中学校の部・特別優秀校としてアドバイザーフェロー賞にふさわしい活動として認められた。

最優秀校（4校）

【小学校部門】

- 文部科学大臣賞 広島県 福山市立御野小学校 ● 環境大臣賞 宮城県 気仙沼市立大谷小学校
 ● 農林水産大臣賞 石川県 中能登町立滝尾小学校 ● 協会会長賞 和歌山県 白浜町立日置小学校

【中学校部門】

- 文部科学大臣賞 兵庫県 尼崎市立成良中学校 ● 環境大臣賞 徳島県 阿南市立椿町中学校
 ● 農林水産大臣賞 愛知県 名古屋市立東星中学校 ● 協会会長賞 佐賀県 佐賀市立城北中学校

特別優秀校

【小学校部門】

- 根本美緒アドバイザーフェロー賞 熊本県 水俣市立湯出小学校

【中学校部門】

- 根本美緒アドバイザーフェロー賞 鹿児島県 宇検村立名柄小中学校

優秀校

● 協会会長賞（6校）

【小学校部門】

- 青森県 鯨ヶ沢町立舞戸小学校 ● 茨城県 大子町立袋田小学校 ● 京都府 光華小学校
 ● 秋田県 潟上市立出戸小学校 ● 埼玉県 さいたま市立大宮小学校 ● 大分県 杵築市立豊洋小学校

● 協会会長賞（6校）

【中学校部門】

- 栃木県 鹿沼市立板荷中学校 ● 東京都 稲城市立稲城第四中学校 ● 島根県 松江市立鹿島中学校
 ● 千葉県 君津市立清和中学校 ● 滋賀県 彦根市立西中学校 ● 福岡県 新宮町立新宮中学校

優良校

● 協会会長賞（25校）

【小学校部門】

- 北海道 稚内市立稚内西小中学校 ● 福井県 大野市富田小学校 ● 高知県 室戸市立元小学校
 ● 栃木県 上三川町立北小学校 ● 岐阜県 関市立旭ヶ丘小学校 ● 福岡県 飯塚市立高田小学校
 ● 群馬県 渋川市立小野上小学校 ● 静岡県 磐田市立長野小学校 ● 佐賀県 多久市立納所小学校
 ● 千葉県 君津市立北子安小学校 ● 愛知県 岡崎市立愛宕小学校 ● 長崎県 五島市立奥浦小学校
 ● 東京都 杉並区立和田小学校 ● 兵庫県 神戸市立有野東小学校 ● 宮崎県 美郷町立黒木小学校
 ● 神奈川県 小田原市立町田小学校 ● 奈良県 宇陀市立榛原東小学校 ● 鹿児島県 瀬戸内町立篠川小中学校
 ● 新潟県 三条市立四日町小学校 ● 岡山県 美作市立梶並小学校 ● 沖縄県 宜野湾市立普天間第二小学校
 ● 長野県 岡谷市立田中小学校 ● 山口県 下関市立神田小学校
 ● 富山県 南砺市立井波小学校 ● 愛媛県 宇和島市立遊子小学校

● 協会会長賞（23校）

【中学校部門】

- 北海道 岩見沢市立北村中学校 ● 富山県 舟橋村立舟橋中学校 ● 山口県 山陽小野田市立厚狭中学校
 ● 青森県 青森市立油川中学校 ● 福井県 福井市成和中学校 ● 愛媛県 松山市立中島中学校
 ● 宮城県 加美町立小野田中学校 ● 岐阜県 岐阜市立加納中学校 ● 長崎県 諫早市立諫早中学校
 ● 秋田県 にかほ市立金浦中学校 ● 静岡県 三島市立北中学校 ● 熊本県 熊本市立東町中学校
 ● 山形県 大蔵村立大蔵中学校 ● 京都府 福知山市立南陵中学校 ● 大分県 豊後高田市立田染中学校
 ● 茨城県 潮来市立潮来第一中学校 ● 奈良県 宇陀市立菟田野中学校 ● 宮崎県 高原町立後川内中学校
 ● 群馬県 上野村立上野中学校 ● 岡山県 美作市立美作中学校 ● 沖縄県 那覇市立石嶺中学校
 ● 埼玉県 狭山市立山王中学校 ● 広島県 呉市立豊浜中学校

受賞校該当県出席者のインタビュー

■ 小学校部門



吉村幸彦 様（左）／近延久美子 様（右）

広島地方連絡会議コカ・コーラウエスト(株)環境・広報部 吉村幸彦様
広島県福山市立御野小学校 PTA 会長 近延久美子様

福山市立御野小学校は、卒業生の方々が中心になって、子どもたちに環境やリサイクルについて教えて下さっています。後輩に対して熱心に教えて下さっているようで、今では、当たり前のことかもしれませんが、落ちているゴミを自発的に拾う子どもに成長してくれました。今後も、その当たり前のことができる、素晴らしい地域の環境作りをサポートし続けたいと思います。



堀内浩一 様（左）／安東 實 様（右）

石川県中能登町教育委員会 教育文化課課長 堀内浩一様
北陸地方連絡会議ハウスウエルネスフーズ(株) 安東 實様

中能登町立滝尾小学校のある地域は、地域のシンボルでもある熊野川が流れていて、風光明媚で非常に美しい地域なのですが、それでも川が汚れ、さまざまな環境に関して弊害が出てきています。そんな中、校長先生をはじめ、先生や生徒など、学校全体でその美しい川や自然を取り戻し、維持し続けて行こうという活動は、とても素晴らしいことだと感動を覚えました。



藤村校長先生（左）／鈴木 聡 様（右）

宮城県気仙沼市立大谷小学校 校長 藤村俊美様
宮城地方連絡会議仙台コカ・コーラボトリング(株)広報・環境課 鈴木 聡様

宮城県の小学校がこのような賞を受賞するのは初めてのことで、気仙沼市立大谷小学校の受賞は大変嬉しいことです。ご存知の通り、大震災で気仙沼は壊滅的な被害が出た地域です。それにも関わらず、子ども達は常に前向きで、震災後にも地域の環境美化活動に一生懸命取り組んでいました。その姿には、私たち大人が教えられたほどで、今回の受賞は本当に感無量です。



柏木香三 様（左）／山田龍生 様（右）

和歌山県教育委員会学校指導課 指導主事 柏木香三様
和歌山地方連絡会議和歌山ノーキョー食品工業(株)企画管理部 山田龍生様

白浜町立日置小学校がゴミ拾いなどの環境美化活動に取り組んだきっかけが、子どもたちからだったということが大変喜ばしいことだと思います。現在二十歳になる彼らが小学生の頃にはじまり、教師や大人だけでなく、地方行政まで動かしたパワー。それが、今の子どもたちまで代々伝わっていることに感動しますし、今後は、白浜だけでなく全国に広がると良いと考えています。



金澤 聡 様（左）／林田教頭先生（右）

水俣市立湯出小学校 教頭 林田正弘様
熊本地方連絡会議サントリービア&スピリッツ(株)熊本支店 金澤 聡様

水俣市立湯出小学校の児童たちは、この地域が好きで、その気持ちが引き金となっている活動を評価して頂き、賞をいただいたことで誇らしい気持ちでいっぱいです。子どもたちが地域を愛し、地域の方々とふれあい、そこから学び、活動に生かしていく。この素晴らしい循環が、今後は水俣だけでなく県内全体に広がるように、湯出小学校にはリーダーシップをとってもらいたいです。

■ 中学校部門



志垣美帆 様



柴山文雄 様

兵庫県農政環境部環境整備課 主査 志垣美帆様
兵庫県地方連絡会議 UCC 上島珈琲(株) 柴山文雄様

兵庫県が最優秀校に選ばれたのが今回が初めてですので、尼崎市立成良中学校の文部科学大臣賞の受賞は非常に光栄に感じております。成良中学校の生徒さんたちは「尼崎シーブルプロジェクト」という名称のもと、地域ぐるみで広範囲に渡りとても熱心に活動されているので、我々としても側面からの支援を今後もさせて頂ければと考えております。



神田 豊 様

愛知地方連絡会議カゴメ(株)名古屋支店 神田 豊様

名古屋市立東星中学校の定着した地域清掃や、学校の近くの森を里山として再生させるための活動などに、非常に感心しております。5年前から表彰式に出席しているのですが、年々子どもたちの環境に対する意識が高くなっているのを感じます。そして何より学校と地域が一緒になって活動を盛り上げていく“環境教育”が根付いてきていることは、とても素晴らしいことだと思います。



篠原 真 様 (左) / 安藤尊伸 様 (右)

徳島県阿南市教育委員会 学校教育課長 篠原 真様
徳島地方連絡会議四国コカ・コーラボトリング(株)徳島支店 安藤尊伸様

阿南市立椿町中学校ではウミガメに優しい環境を考え、長年海岸清掃活動を行っていますが、規模の小さな学校で中学2年生は学年で5名のみです。今日は5名全員の晴れの舞台を見ることができ、とても感謝しております。椿町中学校が行っている海岸清掃活動を、多くの人に広めていくことが大切だと思います。そして少しでも賛同して頂けるように、我々もバックアップができればと思います。



森本龍之介 様 (左) / 白浜昌子 様 (右)

佐賀県くらし環境本部循環型社会推進課 主査 白浜昌子様
佐賀地方連絡会議アサヒビール(株)佐賀筑後支店 森本龍之介様

PTAや先生方が先導して活動しているという学校が多いなかで、佐賀市立城北中学校は生徒会が中心となって、生徒たちが自主的に地域の方々と一緒に活動しているのが素晴らしかったと思います。城北中学校は生徒を中心に地域の各種団体に呼びかけを行って活動しているので、若い子どもたちが環境への強い思いを持っていることに、私たち大人も考えていかなければいけないと実感しております。



田内直樹 様 (左) / 河瀬雅之 様 (右)

鹿児島県教育庁義務教育課 指導主事 河瀬雅之様
鹿児島地方連絡会議キリンビール(株)鹿児島支店 田内直樹様

宇検村立名柄小中学校は、長年に及び学校を始め地域全体が一体となって地道に活動を続けてきているので、今回いただいた賞が生徒たちにとって、非常に励みになると思います。今回の名柄小中学校の受賞をきっかけに、鹿児島県全体の小中学校のみんなが環境美化に関心を持ち、そしてみんなで活動することの喜びを感じ合えるように、今後もバックアップできればと考えております。

学校における環境学習の教材の一部として活用が出来ます。



「まちの美化」と「リサイクル」をテーマにした小学生用のサイトがあります!

まち美化キッズ

【サイトのご紹介】

「まち美化キッズ」は、食品容器環境美化協会が小学校高学年を対象に制作した学習 Web サイトです。児童たちの身の回りにある飲料容器「びん、かん、ペットボトル」を通して、環境美化・リサイクルの大切さや仕組みを「まち美化ってなあに?」「ポイ捨てストップってなあに?」「調べ学習コーナー」等、楽しく学べる構成となっています。



まち美化ってなあに?



ポイ捨てストップってなあに?



ホームページは
こちらから

まち美化キッズ

検索

<http://www.kankyobika.or.jp/kids>

